

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会  
会 長 大 石 久 和

印省略

## 平成30年度 実地研修会開催について (東日本大震災の復興の現状 ～復興に向けた現在の取り組み～)

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚く御礼申し上げます。  
本協会では、平成30年7月19日(木)～20日(金)に標記実地研修会を開催いたします。  
本実地研修会では、東日本大震災の復旧・復興への対応を視察するとともに、復旧・復興への様々な手法(CM方式や事業促進PPPなどの活用)や官公庁等技術者の貴重な体験について学ぶことを目的としています。

なお、本実地研修会は国土交通省の後援(予定)のもと実施することとしています。

① 日 程：別紙日程表のとおり

② 募 集 人 数：45名 ※現地の条件により人数制限があります。

③ 研 修 料：一般(非会員) …………… 21,000円(税込み)  
正会員・特別会員・賛助会員 …………… 18,000円(〃)  
※若手(30歳未満)割引はありません。  
※一般/会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい。  
※研修料は、1～2日目の費用です。幹旋宿舎の宿泊料は含みません。  
現場研修時の昼食代(1,200円)を含みます。

④ 申 込 方 法：申込書に必要事項を記入し、できるだけ所属協会事務局を通じ期限までにメール又は郵送にて全建事務局までお申込み下さい。  
申込者数が募集人数以内の場合、参加できる旨ご通知します。  
申込者数が募集人数を超えた場合、本会にて選考し(地域性を考慮しつつ若手の方を優先)その結果をご通知します。  
通知は、6月25日～29日頃を予定しています。  
研修料の振込みは、本会からの通知の後にお願いします。

⑤ 申込書送付先：(一社)全日本建設技術協会 事業課 Mail: [kensyu@zenken.com](mailto:kensyu@zenken.com)  
〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ヒューリック赤坂ビル7F  
TEL: 03-3585-4546 FAX: 03-3586-6640

⑥ 申 込 締 切 日：平成30年6月15日(金) 必着(締切日以降に到着したものは受理できない場合があります)

※参加者が決定した後の取り消し(返金等)については、原則行いません。  
※研修料の領収書及び視察資料は会場にて、参加証は視察終了後にお渡しいたします。  
※現場研修には、スニーカー等で参加下さい(革靴NG)。  
※参加者には、本部で国内旅行傷害保険を掛けさせていただきます。  
※事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。

- ・本研修会は、本協会で開催の「全建CPD(継続教育)制度」の認定講習会として[聴講：2単位、現場研修：3.75単位](予定)が取得できます。
- ・技術講習会、実地研修会の情報については、全建ホームページをご覧ください。 <http://www.zenken.com/>

主催：(一社)全日本建設技術協会 後援：国土交通省(予定)

## 平成30年度 実地研修会 日程 東日本大震災の復興の現状 ～復興に向けた現在の取組み～

本実地研修会では、東日本大震災の復旧・復興への対応を視察するとともに、復旧・復興への様々な手法（CM方式や事業促進PPPなどの活用）や官公庁等技術者の貴重な体験について学びます。

会場 …………… 宮古ホテル沢田屋 2階「五葉」  
〒027-0086 岩手県宮古市新町4-1 TEL 0193-62-7711

(1日目) 開場14:30		平成30年7月19日(木)【聴講】		(敬称略)
15:30 }	復興道路・復興支援道路について	国土交通省東北地方整備局 三陸国道事務所工務第一課 課長	山本 賢	
16:00 }	大船渡港海岸防潮堤整備事業及び 高田松原津波復興祈念公園事業について	岩手県沿岸広域振興局土木部 大船渡土木センター 副所長	馬場 聡	
16:40 }	陸前高田市被災市街地復興土地区画整理事業 について	陸前高田市復興局 市街地整備課 主幹兼課長補佐	高橋 宏紀	
17:10 }		(独)都市再生機構 岩手震災復興支援本部 陸前高田復興支援事務所 副所長	中村 鉄生	
17:40				
18:00～19:30 「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」 <希望者のみ 会費2,000円> 宮古ホテル沢田屋 3階「松風」				
(2日目) 集合 8:10～		7月20日(金)【現場研修】		
<b>宮古セントラルホテル熊安 駐車場(8:25)出発</b> → 宮古盛岡横断道路 宮古西道路「(仮称)磯鶏 <small>そけい</small> トンネル」建設事業(下車説明) → 大船渡港海岸防潮堤整備事業(下車説明) → 昼食[大船渡市内] → 陸前高田市被災市街地復興土地区画整理事業(下車説明) → 高田松原津波復興祈念公園事業(下車説明) → JR一関駅(17:25)着後解散				
※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。				

全建CPD(継続教育)制度認定プログラム 【聴講】2単位、【現場研修】3.75単位(予定)

## 平成30年度 実地研修会（震災復興の現状）事業の概要

### 1. 宮古盛岡横断道路 宮古西道路「（仮称）磯鶏<sup>そけい</sup>トンネル」建設事業 …………… 宮古市磯鶏

宮古盛岡横断道路は「復興支援道路」として、東日本大震災からの早期復興に向けたリーディングプロジェクトとして位置づけられ、平成23年11月に事業化されました。事業にあたっては、復興事業の促進を図るため、国内初の事業促進PPPを導入しています。これは、官民がパートナーを組み、官民双方の技術・経験を活かしながら効率的なマネジメントを行うことにより事業の促進をはかるものです。

「（仮称）磯鶏トンネル」は、宮古盛岡横断道路のうち、宮古西道路区間の起点に当たる箇所に建設中です。同トンネルは延長1,554mであり、同市中心部で工事を行っており、市街地に近接しているため、防音ハウスや防音扉などを設置し、地域への影響に配慮しつつ、ICT（情報通信技術）も取り入れながら、工事を進めています。



### 2. 大船渡港海岸防潮堤整備事業 …………… 大船渡市（大船渡港）

大船渡港は、昭和34年に重要港湾に指定され、セメントやその原燃料が多く取り扱われています。被災前の防潮堤の高さはT.P. +3～3.5mでしたが、東日本大震災津波における大船渡湾の津波痕跡高さは10.4mであり、大船渡市内でも甚大な被害が生じました。このため、大船渡湾では、発生頻度の高い津波（数十年～百数十年で発生している津波）への対策として、昨年3月に復旧した国土交通省施工の湾口防波堤との組合せにより、防潮堤の計画高さをT.P. +7.5mとし、延長約7kmに及ぶ防潮堤の復旧及び整備を進めています。



なお、最大クラスの津波に対しては、住民の避難を軸に、土地利用、避難施設の整備などソフト・ハードを総動員する「多重防護」での対策を進めています。

また、東日本大震災津波において、水門・陸閘の閉鎖作業に関わり多くの消防団員が犠牲になった事実を踏まえ、現地作業が生じないよう水門・陸閘自動閉鎖システムの整備を進めています。

### 3. 陸前高田市震災復興事業 ..... 陸前高田市

風光明媚なりアス式海岸に位置し、東北有数の海水浴場でもあり国の名勝にも指定されている陸前高田市の「高田松原」を含む周辺一体は、年間約100万人が訪れる観光地でもありました。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では地盤沈下や液状化が生じたとともに、地震直後に発生した大津波は気仙川を7km以上遡上し、中心市街地を含め壊滅的な被害をもたらし、死者・行方不明者は1,760人にも及び、県内最大の被災地となりました。

#### ①陸前高田市被災市街地復興土地画整理事業

津波により市役所をはじめ中心市街地のほぼ全ての建物が流失した高田地区と今泉地区においては、土地画整理事業により、高台住宅地の整備や浸水区域の一部をかさ上げし、商業施設等を配置するなど、安全でコンパクトな新しい市街地の整備を進めています。

施行面積は、高田地区が約186ha、今泉地区は約112haと被災地最大規模であり、全長3kmに及ぶベルトコンベアを使用した土砂搬出により工事期間の短縮を図りました。平成32年度の事業完成を目指しています。平成29年4月には、高田地区のかさ上げ地で初の営業となる大型商業施設「アバッセたかた」と「まちなか広場」がオープンし、市立図書館が開館するなど、新たな中心市街地が形成されつつあります。



#### ②高田松原津波復興祈念公園事業

高田松原は、約350年前から造林された約7万本もの松林で三陸沿岸地域を代表する景勝地でした。しかし、東日本大震災の津波により、高田松原の砂州と松はほぼ全て消失しました。

高田松原地区に整備する復興祈念公園は、岩手県、さらには被災地全体のかなめとなる祈念公園として、この地のみならず東日本大震災で犠牲になった全ての生命（いのち）に対する追悼と鎮魂の場となるものです。また、三陸沿岸地域で先人たちが培ってきた津波防災文化とともに今回の震災の実情



高田松原津波復興祈念公園イメージ

と教訓を後世に伝承し、さらに高田松原の再生を通じて自然と人々との関わりの新たな姿をこの公園で具現化し、我が国の復興のありようを国内外に明確に示すものでもあります。

この公園の中に再建される道の駅「高田松原」内には「東日本大震災津波伝承館」の整備を進めており、ラグビーワールドカップ2019™釜石開催（2019年9月）前の開館を予定しています。

また、公園としては、2020年に「国営追悼・祈念施設（仮称）」及びその周辺の一部区域を供用開始し、その後、順次、残りの区域を供用していく予定です。



平成30年度

実地研修会(東日本大震災の復興の現状)に参加の皆様へ!

「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します



(一社)全日本建設技術協会主催の講習会では、全国から多くの方々にご参加いただき、この機会を有効に活用するため、参加者同士が連携・交流を図り、意見交換・情報交換を行うことで、知見と人脈を広げ、今後の業務に役立てていただくため、「参加者同士の交流会」を実施しています。さらに、講演いただく講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流を図る場としています。

ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

日時 : 平成30年7月19日(木) 18:00~19:30(予定)

場所 : 宮古ホテル沢田屋 3F「松風」  
※講習会場と同じ建物です

会費 : 2,000円  
(受付時に徴収)

※開催時間は変更が生じることもありますので、開催当日にご案内いたします。

※参加希望の方は申込書の「交流会」欄に○印を記入して下さい。

※この交流会は会費制です。

※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。

※服装については特に問いません。



1. 研修会の参加者同士の交流促進をはかる

①参加者の知見と人脈を広める(名刺交換) ②意見交換・情報交換

2. 参加者と講師との交流・懇談

①講師との交流 ②質疑応答など

※都合により内容が変更になる場合があります。

<問合せ> (一社)全日本建設技術協会 事業課 講習会担当  
TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com

一般社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名  
 (特別・賛助会員名、会社名)

平成30年度 実地研修会 (東日本大震災の復興の現状) 申込書

<個人情報の取扱いについて>

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に実地研修会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講・現場		交流会	宿泊 7/19 ○禁 ○喫	選考結果
(フリガナ) 氏名 <small>(女性の場合は番号に○をつけて下さい)</small>	年齢		一般(非会員)	正・特・賛			
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
※ 一般/会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい。 ※ 宿泊料は、研修料に含まませんのでご注意ください。 ※ この実地研修会は募集人数が少ないことから、申込み締め切り後に本部より選考結果を通知します。研修料のお振り込みは、その後をお願いいたします。 なお、宿泊申込みは、選考にもれた場合は自動的にキャンセルになります。					交流会費 2000円は現地でお支払い下さい	お宿泊代金はホテルチェックイン時に	※この欄は事務局が使用します
実地研修料 一般(非会員)		※この欄は本部事務局が使用します。 名×21,000円＝ 円					
正会員・特別会員・賛助会員		名×18,000円＝ 円					
計					円		

【お申込みについて】

↓本部の通知後に全建に振込

必要事項を記入し、期限までにできるだけメール又は郵送にてお申込み下さい。  
 研修料[銀行振込の(写)]は、本会からの通知後にメール又はFAXにて送付願います。

【変更・取り消し・追加方法について】

電話での受付はいたしません。  
 本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、メール又はFAXをお送り下さい。  
 申込み締め切り後の参加者の変更はできません。

【実地研修会の昼食について】

実地研修会の昼食は全員用意いたします。不要の申し出は出来ません。